

発行責任者 柳 利夫

住所 東村山市萩山町5-6-26-301

Tel. 0423-92-8808

編集者 川村 英明

### —夏季合宿 柏崎遠征記—

恩多クラブ 中根 一夫

硬直関係者又は代表選手の中での家族連れ柏崎行であれば喜んで家族共々参加するが、市民テの夏季合宿であれば柏崎では家族連れの場合かなりの費用を要しその面からも参加したくてもできない人が出て参加者も少ないだろうと反対したが、満足した以上協力を優先して参加したので以下報告します。

まず、柏崎遠征前の準備段階での隠れた裏話の一部を皆さんに披露したいと思えます。今回は仕事の都合でどうしても参加できないと言っていた笹野井事務局長が柏崎行が決まった以上なんとしても「我が市民テサマーキャンプを成功させねばならぬ。さりとて国鉄で行けば足代だけでも2万円近くになり宿泊費を入れた場合、募集時の予算対比大幅アップとなり参加者特に家族連れ参加者には大きな負担となり問題。又市民テの行動面においても柏崎一宿舎間宿舎コート間がかなりの距離があり、柏崎での足が心配である」ということから昨年同様レンタマイグロバス(昨年よりも大型でリクライニングシート付)にしようではないかという提案がだされ急遽バス利用で出かけることになった。

7月24日23時に子供11人大人18人東住宅給水塔下に集合太田先生を迎えに行ったYさん他が現われず10分過ぎようやく現われる。遅れた理由は差し入れの買い出しの由でこれも止むなし。出発一途柏崎へ……

閑越自動車道に入り東松山附近からポツリポツリ雨が降り出し前橋では大雨に出逢ったが渋川あたりで雨もあがり約2時間走った所で三國峠に入る前の沼田市郊外で小休止各人思い思いに用便等をすませ再度バスを走らせ三國峠を無事登リトンネルを抜け、トンネルを出れば雪国だったという新潟県に踏み入れ、真夜中の信濃路をヒタ走り、苗場湯沢を経て石打のドライブインで深夜2時の二度目の小休止。皆な眠そうな顔で身体を伸ばすなどひと休み。中で80歳をこえる太田先生が一着元気で聞く所によると出発前に3〜4時間睡眠を取られた由、さすが元大選手、事に対する備えが充分と感じ入った。六日町から十日町を経て太田先生がお若い時代柏崎より約1時間半かけて峠を越え美しい彼女(現在の奥様)に逢いに来たという(御本人の話)峠を越え柏崎に到着。潮の香り漂う宿舎大家に朝5時に入った。早朝にかかわらず柏崎市体協の野村事務局長の出迎えを受けた後皆な仮眠に、入浴にそれぞれ疲れをいやし8時朝食9時全員白竜コートに出発した。柏崎市でコート6面のうち2面を市民テ合宿のため確保してもらい武谷技術部長が組んだ練習計画に差つき12時近みっちり練習。特に小学3年を含めたジュニアの練習を見て柏崎は未実施の由で柏崎の皆さんが非常に感心していた。

昼食は近くのレストランで取り午後は海水浴組とテニス組にわかれ、子供づれは日本海での海水浴を楽しんだ。遠く通って海底が見える海で泳ぎ、杣山幹事アレンジによる

風船割、すいか割に子供達は大喜び、大人共々海水浴を楽しんだ。

海の幸が盛りだくさんの夕食をとり、夜は恒例のキャンプファイヤーを日本海の潮風吹く浜辺で開催、皆輪になり唄に踊りに花火大会に夜のひとときを楽しみ最後に各人が準備のプレゼントを手に持ち歌に合せ輪の中をまわしストッフの掛け声とともに楽しみのプレゼント交換が終り後片付け後宿に戻り柏崎での第一夜の眠りについた。

2日目は朝5時起き市民テ早起きドリの有志は早朝テニスを楽しみ朝食後は子供達はプールで水泳、大人はテニスをみっちり練習。昼食は前夜到着の大沢精密の選手も勢揃い、午後より、柏崎市選手と交流試合を行なうことになり対柏崎戦も4回目。懐かしい顔の柏崎選手、市民テも入れた東村山市側と入りまじり適量ペアを組み試合を通じ交流を深め親睦をはかり友情の輪を広げた。特に1年ぶりの出逢いで柏崎市選手の皆さんの1年見ぬ間の技術向上は、1年間の練習成果を定量的に見た気がした。

親善試合終了後デパート屋上で柏崎市主催会費1500円也の歓迎ビアパーティーへ東村山選手団と市民テ有志も参加し心暖まる柏崎サイドの歓迎、なごやかな交歓会懇談の輪がひらいた。柏崎市の教育長、体育団長他の暖い歓迎の言葉、柏崎市選手団の心暖まる歓待に心ゆくまで柏崎市と東村山市のテニスを通じた親睦をはかることができた。

3日目はいよいよ第4回太田杯争奪戦、選手をはじめ全員宿舎を引きあげ白竜コートへ。子供達はコート横の白竜公園で柏崎の子供達と遊び、市民テの皆さんはコート1面を利用して練習、そして応援。選手は対抗戦に奮闘。劣勢を予想した柏崎市との試合も特に女将の活躍がめざましく19勝6敗で東村山市が勝利をおさめ、対戦成績2勝2敗のイーブンとし無事太田杯を東村山に持って帰ることができた。対抗試合終了後コート横の白竜公園で柏崎市のバブくしのさよならパーティーが開かれ、対抗戦の互いの健闘をたたえ、友情を深め、来年の東村山市での再会を約して両市の体協の発展を念じ万々三唱。

午後4時バスに乗りこみ笹野井事務局長のハンドルで帰途につき途中2回の小休止を含め約7時間を費やし午後11時無事東住宅給水塔前に到着した。往復約800キロ、これに柏崎滞在期間我々の足となってバスを運転して下さった笹野井ドライバー、ほんとうに御苦労さまでした。参加者全員よりあつく敬礼申し上げます。

最後に柏崎市の皆さんの暖い歓迎、歓待に感謝し心より御礼を申し上げますとともに、柏崎市訪問団長の東村山市体協の市川副会長、体育課の当間さんに大変お世話になり深謝し報告を終わります。





第4回 東村山市対 柏崎市 太田杯 争奪戦を終えて

監督 武谷 直也

第4回を迎えたこの大会は時折小雨がバラつきはしたが、まずまずの天候にめぐまれ無事7月27日に終了することができました。第3回大会は我が東村山チームが苦戦を契したため、我が選手団は25日夜には全員奮闘し、26日の午前中は「市民テ」の合宿と合流し必勝を期して合同練習を行いました。その成果あつてか19勝6敗(別表参考)で大勝することができました。

元来この対抗戦はただ勝負を争うだけでなく両市民の交流と親睦を固めることも重要な目的としているわけですが、やはり勝負である以上勝つことも重視せざるを得ないのもやむを得ない所です。結果を見ていただいたときわかりますように、選手の全員が同一の出場機会にめぐまれなかったのもそんな所に起因しています。

第3回大会までは、選手選考に当たって春秋の市民大会の成績を重視しながらもとにかく出場可能な選手ならば連盟非加盟者からも選考してきましたが、今年は連盟加盟選手で且つ春秋市民大会の上位選手に遠征を要請しほぼ予定通りの選手団を結成することができました。選手の皆さんに心から感謝いたしますと同時に次回以降少なくとも遠征に要する費用だけでも選手の皆さんの負担が少なくなるよう硬直連としても配慮できればと思います。「市民テ」の選手は予算に組まれた選手派遣費用があるため他の選手よりも若干負担が軽かったのは会員皆さまのお蔭だと心より感謝する次第です。

今回の大会で双方2回づつ訪問し合ったこととなります。硬直連が他の連盟に先がけて柏崎市との交流試合を定期批させ今日まで来たわけですが、これ迄は両市庁舎訪問や市内見物など両市、両体協(柏崎市は体育団と呼んでおります)の手をわずらわすことが多く、やむを得ずと困る場面もありましたが、ここに至ってはお互いに気心も知れてきましたので今後は太田杯の持つ重要な柱の一つである両市民がテニスの試合を通じてでなく家族共々が協力し合つて親睦を深めていき、お互いに日常的にもつき合えるような人間関係を築いていくということをもっと重視していく必要があるように思えます。その意味からこれは先方の団長さんが挨拶の中で述べられたことですが、毎回同一メンバーだけが交流するのではなく半数のメンバーは入れかえていくなどという提案も一考に値するように思われます。その他選手やその家族が旅館に泊まるのではなく各家庭に分宿するなど考えられていのように思われます。等々まだまだ良い案があろうかとも思いますが、第5回大会を一つの機会としてより内容のある行事へとますます発展するよう硬直連として具体化していかなければならないでしょう。「市民テ」の皆さんからも良い智恵を貸して頂けると同時に御協力頂けるものと期待する次第です。

最後に体協の副会長市川さん(今回の遠征の団長)、体育課の当間さん(同じく事務局担当)のお二人が多忙の折にもかわらず遠征に御同行頂き、先方での大切な任務を心よく引き受けて頂いたことに対してこの場を借りて感謝の意を表したいと思います。又柏崎の皆さん本当に有難うございました。来年又お逢いできるのを楽しみにしております。

—対戦結果—

▼男子シングルス

- |          |      |
|----------|------|
| <東村山>    | <柏崎> |
| 1 武谷 6-1 | 野村   |
| 2 鈴木 2-6 | 窪田   |
| 3 吉永 7-6 | 西巻   |
| 4 小池 1-6 | 徳間   |
| 5 中野 6-3 | 村山   |
| 6 増沢 3-6 | 小林   |
| 7 本保 6-0 | 桑山   |
| 8 西條 6-3 | 桑山   |

▼男子ダブルス

- 小池・鈴木 2-6 野村・徳間
- 武谷・吉永 6-4 窪田・徳間
- 増沢・本保 6-3 小林・桑山
- 中野・西條 6-4 山崎・村山
- 藤岡・西條 1-6 西巻・歌代
- 市川・西條 6-0 三柳・相間
- 笠野・中保 2-6 栗野・桑山

▼女子シングルス

- 武谷 6-0 石橋
- 坪谷 6-4 大谷
- 山口 6-4 石口

▼女子ダブルス

- 武谷・山口 6-2 石橋・大谷
- 清池・坪谷 6-3 大谷・橋本
- 栗原・栗原 6-1 伊藤・布施

▼混合ダブルス

- 武谷・武谷 6-0 山崎・木村
- 鈴木・清池 6-1 徳間・大谷
- 小池・坪谷 6-1 大橋・市川
- 市川・山口 6-1 栗野・相間

柏崎市の市の花"やまゆり"とこうで東村山市の市の花はなんでしょう?



柏崎戦に出場して

東住クラブ 山口 信子

7月27日柏崎市との対抗戦。昨夜からの激しい雨、明日は雨ときめこんでいた。朝雨があがっていたが今にも降り出しそうな空模様そんな中で始まった。テークバックの遅い私には、苦手のハードコート、不安だったがはずみのあるコートで少し安心。練習のボールがラケットの真芯に当たらない。ボールをよく見る、足を動かす等いくつものことを自分に言い聞かせる。ダブルス・シングルス・ミックスと3戦に出場。ダブルスは初回だったので緊張ぎみでぞむ。柏崎ペアはドライブのよくかかった深いボールで攻められ2ゲーム先取されたが6-2と1勝をあげることができほっとする。シングルス戦はとりで戦う心細さたまにたまし引つ張つてくれる相手がいない不安で腕が縮まる。

その時は東村山の勝利が決まっていたので皆に負けてもいいんだよと変な励ましを受けながらの試合だった。リードされっぱなしの試合だったが6-4と勝つことができたがもう少し何とかいっものストロークで打ち合えないものかとはがゆい思い。ミックス戦の時はもう気楽に戦ってこいと思いやり(?)のある言葉を又ももらい大沢精徳の市川氏と組む。相手は若い若いペア、楽しく対戦でき6-1で勝つ。市川氏と又ミックスを組もうと固い約束をかわした。

東村山は圧勝をおさめ、念願のカップを手にすることができ皆の顔もほころぶ。又敢闘賞なるもの私がいただけなんて首をかしげたくなるようだったが好意を受け有難ういただく。賞品の内容はなんと手づくりのラケットの注文書。早速注文書を送りラケットが手許に届くのを心待ちしている毎日です。合宿を兼ねての柏崎戦。留守を主人と子供に頼んで単身で出かける嬉しさ(初めての経験なので)朝から夕方までテニスだけに夢中になっていられると思うと、子供のように心をおどらせて出かける楽しい3日間だった。

「旦那様、息子よありがとう。又こんな機会がありますよう...」



### 夏季合宿に参加して

美住クラブ 浅見 れい子

私は今年より市民テニスに入会させていただきました。テニスはしたことのないのでボールがまともにあたるか不安でした。1月からの練習打ってみると案の定、から振りや高く打ち上げたりで返えるボールはありません。そんな折、今回の合宿誌、夏休みでもあるので初めての参加を決意(せめても「ラケットにボールがあたりますように」とお願いをこめて)。合宿参加者は37名位でした。マイクロバス満員で柏崎市へ出発。車中では座席がなく通路に横になる人1名、あざがたくさんで来たのではないのでしょうか? おだいじに!

途中強い雨で天気が心配。ところが明け方には雲も切れ晴れ間ができてホッと一安心。早朝5時半大家旅館に到着。目の前には広大な日本海、波も静かで気持ちよく、空気もよいので早朝練習には、ブヨクにさされて見るもあわれな足が可哀相。練習ではコーチの方々がこまかい所まで親切に注意してくださり、又柏崎市の体協の野村さんに早朝より熱心な御指導もしていただきました。

なんといつてもいつても話すことのない他のコートの方々と接触でき毎日テニスのことを考えて練習できたことが一番でした。企画の方々、運転専門の笹野井さん、指揮を執る方達の目に見えない御苦労があったと思います。楽しい合宿ができありがとうございました。来年もテニスを続けていたら又参加させていただくつもりです。これから練習もよろしくお願ひします。

### テニスの合宿

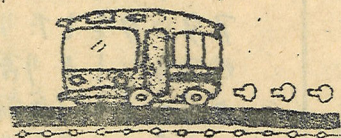
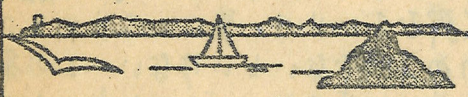
東住クラブ 江藤 浩二

まちにまつた7月24日の夜がきた。ぼくは少し不安でした。それはみんなと友だちになれるか心配でした。何時間かたたないうちになれてよかつた。

柏崎で海に入る前にぼくは日本海は波があらいと聞いていたより波はひどくなかつた。海でスイカ割りや、ていぼうを作ったりしておもしろかつた。白竜コートは雨が降ると後はすべつていやだつた。

2日目の昼食をおえてから痴塚の家に行つた。痴塚の家は全国から集められた民芸品がたくさんあつてぼくの家にもあるのもあつた。柏崎のプールは広くて数はたくさんあるし東村山よりたつぷり泳げてよかつた。少しさむかつたので泳ぐ気がしませんでした。柏崎の料理は毎日魚だつたけどあきなくてとてもおいしかつた。

柏崎の合宿はとてもおもしろくいつまでも心に残ることでしょう。また柏崎はいいところなので家族で行きたいと思つています。



コート取りの当番	美住A	9月に10月分を
よるし	本町A	10月に11月分を
お願ひします...	東住B	11月に12月分を

### 楽しかったあの時

柳 舞花 (9文)

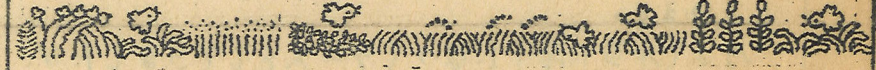
7月25日(金)は8時ごろキャンプファイヤーで、プレゼントこうかんをしました。はじめ「なにがあたるかなあ」と思いました。歌が終わって「みんなプレゼントをひとつづつ手にもつて」と言われた時、わたしは心の中で「ドキドキ」しました。みんながひとつづつもつて歌をきめてまわっている時には、「いいものがあるといいなあ」と思っていました。たま湖町にもとすんでいた人たちもいっしょにはいりました。歌がびたりと終つてわたしの手にもつていたプレゼントは、ひらべたたくてながしかくでした。

へやへ帰つてからプレゼントをあけてみたら「がんばれタブタくん」のノートと、「西武ライオンズ」のハンカチと、えんぴつがはいっていました。わたしは心の中で「男ものだからちよっぴりいやだなあ」と思いました。

ほかの人のものを見せてもらつたら、ちはるちゃんほかわい、いパンダのトランプでした。まこちゃんもちはるちゃんとおなじトランプでした。れいこちゃん、女の子の絵が書いてあるハンカチとちりがみとシールでした。あねえちゃんはキキとラウのおさいふで、まやちゃんはドラえもんグラスでした。

みんなそれぞれ自分へのプレゼントがきにいっていました。わたしもさいしよはらよつといやだなあと思つたけどきにいりました。

わたしは、ことしのがつしゆくはとてまたのしかつたなあと思ひました。



### 自己紹介コーナー

(今月もカップルに登場してもらいました)

1. 氏名 所属クラブ 男女 生年月日(又は誕生日)
2. 出身地(その特徴)
3. 家族構成
4. テニス歴
5. 他のスポーツ(現在又は過去やった)
6. 趣味
7. 自分の特徴
8. 今年の目標又は期待

#### No. 13

1. 三安 利寿 本町クラブ 男 自由業 1937.4.10
2. 福井県大野市 水上勉の越前竹人形の舞台になつたところ
3. 専、長男(高1)、長女(小6) 4. 1年7ヶ月 5. ゴルフ、スキー、水泳、野球 7. 何事も考えすぎ行動が伴わないくらいあり 8. 氣心忘るべからず、テニスはやるほど必ずかしい、基本にもゴリストロークを徹底的にやろうと思ふ。

#### No. 14

1. 三安 孝子 本町クラブ 女 地方公務員 1941.11.7
2. 長野県岡谷市に小5まで、静岡県焼津市で成人まで育つ
3. 夫(最愛?) 長男(高1)、長女(小6) 4. 4年目(早いもので月日だけは上達に関係なく...) 5. バスケット(学生時代)、スキー、水泳(?) 6. のむこと(気の合った仲間と) テニス、読書(和洋乱読) 7. 鼻柱は強いが、ナイーブで(ヱッ!)涙もろい、語調と裏声で恥れをなすが、つき合うほどに味がでる。 8. コートで大声を出さずエレガントテニスを目指す(無理と思ふが)。そして一度でいいから試合に臨みたい。





# 私とテニス <No. 34>



本町クラブ 鏡山 桜子

私とテニスとの出逢いは、今の会社に入りそこでテニスコートがあり、たまたまお昼休みに初夏のさわやかな日の光に誘われてコートのおそばにブラツと歩いて行つたということ。好奇心のいりまじつたほんのいたずらな気分でラケットを借りてボールを打つたその瞬間から、私のその後の人生がまるであつたものになつたと、今でも信じています。

人間40代は不惑の年、それなのにその時から私は小さな白いボールに迷われ、からがわれ喜んだり、悩みほとんど身体も心も休んだことのないような思いがいたします。私の青春時代はまったくスポーツには縁がなく、文学少女つて本と音楽の中に鼻をつっこんで暮らしてしまつたのでから私がこの年で走り廻っているという事は周囲の人達には大変な驚きだつたと思います。私自身でさえ信じられないことですから。

7年間もテニスをやっているといろいろなことがありました。時には自分の下手さ加減にもうやめようかと思つたりうまく動けたときは万歳ではないわいと有頂天になつたりでもすぐボシヤとなり嘆き悲しみ、いやはやテニキチのやること凡てを実行して暮らして来たような気がします。時を痛めて三ヶ月間テニスを休んだ時以外は、常にラケットを握りしめていたのではないかと半ば呆れ、テニスをすること以外は何もしていなかつたのではないかと反省しています。

今まで本当に夢中になつてテニスをしてきましたが、この頃時々ふつと少しばかり楽しんでプレーをする年になつてきたのではないかと思います。勝敗を全然気にせず愉快地にテニスをしている人達が本当に羨ましく私もそうなりたいと願つております。

「私とテニス」を書いておられた皆さんが言われるように、テニスを通じて多くの人達と知り合い、友達になれるということ、これがなんといつても一番素晴らしいことです。それぞれ異つた仕事を持っている人達との交流は、私の人生を今までなかつた豊かな広がりを持たせてくれました。音楽の好きな人と演奏会に行つたり、山歩き好きな人と山菜つみに行つたり、テニスコートで知り合つた若い人々をお節介をおこしてゴールインさせたり、本当に楽しいですね。

最近市民テに御無沙汰しています。余り顔を出さないのになんとなく行きすらいようなでもその代り娘が皆様に大変お世話になっております。帰宅して今日はこんなことを習つたとか教えていただいたことを喜んで申します。感謝の気持ちでいっぱいです。統上をお借りして心から、御礼を申し上げます。これからも体力の続く限り、主人、息子、娘と私、そして皆様方と一緒に「テニス人生」を歩んでいきたいと願つております。



**お知らせ** 前号で大会の予備日10月26日運動公園コートとお知らせしましたが【久米川コート】ですので訂正いたします。  
市民大会出場の選手の皆さん 健闘を祈ります。

# § 技術シリーズ No1 武谷 千枝子

## 女性のためのダブルスの戦法

<はじめに>

この春の市内女子団体戦で、思多チームが日頃の団結力をもつて、優勝しましたがその時皆でダブルスの試合法について練習し、ある程度の効果をあげることができたと思ひますのでその折作つたプリントを中心に市民テの皆様にも紹介し秋の試合に少しでも役立てて頂ければと思ひペンをとりました。これは私の試合で経験した事、本で読んだ事、さらに多くの人々—本井さん、房前さん、オトオチヤンに始まつて多くの友人や初心者(この方々から学ぶ事も多いのです)に至るまで—から学んだことを私なりに整理してみたものです。まだまだ不十分でありますので意見などお聞かせ頂ければ幸いに存じます。

<雁行陣型を中心とした試合での留意点—初級・中級用>

### 1 サーブ

①ダブルフォルトをしない

「サーブは試合を始めるための儀式と思ひなさい！」女子の場合サーブでエースをとれる事は非常に少ないのでサーブは試合を始めるためのセレモニーであると思ひ、ダブルフォルトはできるだけしないようにする。

②相手のバックに入れる

バックは初心者、中級者では多くの人が苦手とするところであるからバックに入れさえすれば、次にチャンスボールが返ってくる可能性が大である。

③深く入れる—スピードよりも大切—

貴女が力いっぱいサーブをしたところで喜ぶのはレシーバーだけ。何故なら殆んどフォルトだからです。一度サーブをした時何本入って何本出たか数えてごらん下さい。あのエバートでさえ、スピードよりも深さとコースで勝負しているのですぞ。

### 2 レシーブ

①前に突っこんでとる⇒ボールをとりに行く

レシーブは殆んどの場合がライジングボールを打たなければならぬので、腰がひけていたり、いじいじしている打ち負けてネットか、アウトか良くてもチャンスボールが上つてしまう。「さあこい！」という気持ちで、ボールに向つていく。

②ネットは絶対しない

レシーブに限らず、ネットは最大の悪である。アウトボールなら相手がさわってくれるチャンスもある。とにかくネットを越えること—とりあえず返す—この気持ちで

③相手チームの前衛にとられないボールを!!

「とりあえず」から一歩余裕がある場合は相手の前衛にとられないようにクロスに返す。サイドを抜いたりアタックをしたりする時は、余裕サーブが弱く、短かくかつネットより高く弾むボールで、更にこちらのスコアがリードして余裕のある時でないといけぬ。この条件のうち一つでもおろそかにすると、バシッとネットにぶつかるといふやな音を聞くか、ホームランするかどうかでしょう。(以下次号につづく)

※秋の市民大会を前にして全文を載せたかったのですが紙面の都合でここまでとなりました。技術シリーズとしてつづけますので、乞御期待!